

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	入居者の殆どが土地勘のない方たちで、一旦外出してしまうと帰るすべを失ってしまうというリスクを抱えている。また、施設のすぐ前は交通量も多く、事故にあう危険性が高い。また、部外者からの影響を受けないような配慮から、施錠をしている。もとより玄関には自動ロックの設備があり、外出の際は職員と共に行動している。訪問者の駐車スペースの確保も考慮し、門扉は解放している。	現状を分析し、多方面からの意見を聴取し今後の対応に活かして行く。出された意見の中で、施錠が身体拘束と判断されるのであれば、今後の対応を考えていきたい。過去のひやりはっとや入居者の状況など参考にする。	1、ご利用者、御家族様アンケートの実施 2、職員の意見交換 3、運営推進会議での外部評価の結果検討	1ヶ月
2	6(5)		多方面からの意見をもとに、開錠についての検討会実施	4、開錠に関して検討会	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。